

ロタ胃腸炎の 予防接種

ロタウイルス胃腸炎は春先に流行し、多くの子どもたちが治療を受けます。時には脱水状態になり、入院するような重症になることもあります。また脳炎・脳症などの合併症もみられます。

ロタ胃腸炎のワクチンは2020年10月から定期接種になりました（8月以降に生まれた赤ちゃんが対象）。ぜひ接種を受けてください。



一口メモ

予防接種の注意・お願い

予防接種を安心して受けるために、いくつかのことを心がけてください。

○受ける予防接種について、病気のことやワクチンの効果・副反応などについて、あらかじめ知っていてほしいと思います。市町村からの文書や、育児書（雑誌）なども参考にしてください。分からないことなどがありましたら、会場の職員や医師にたずねてください。

○健康状態の良い時に受けましょう。心配なときは無理せずに延期したり、医師に相談してください。

○前日は入浴して、体を清潔に。

○予診票は、良く読んで、きちんと記入しましょう。

○母子手帳も忘れずに。（個別接種では、念のために保険証も）

○接種の会場で、体温を測り、記入します。

○予期できない重篤な副反応が、注射のあと15～30分以内におきることがあります。すぐに帰らず、しばらく会場で様子を見てください。

○接種の当日は、入浴をふくめていつもと同じ生活でいいのですが、激しい運動はさけてください。



お腹をこわして吐いたり下痢をしたりする感染症（感染性胃腸炎）は、子どもたちによくおきます。その中でもウイルス性胃腸炎は毎年冬場に流行をくりかえし、小さな子どもたちは必ずといっていいほどかかるてしまうものです。

ウイルス性胃腸炎をおこすウイルスは主に2つ。ノロウイルスとロタウイルスです。流行時期はことなつていて、秋の終わりから冬の初めにかけてはノロウイルス、冬の終わりから春にかけてはロタウイルスが大半です。

症状は共通で、胃を悪くすると吐きますし、腸を悪くすると下痢になります。感染症ですので熱もでます。脱水状態になりやすく、ぐったりしている時には早めの受診が必要です。脱水状態が重い時には入院の上で点滴治療をすることもあります。

さらにロタウイルスは脳炎や脳症といった重篤な合併症をおこしてしまうこともあります。

このロタウイルス胃腸炎はほとんどの乳幼児がかかります。世界中の子どもたちが5歳までには一度はかかると言われています。

年齢の小さな子がかかると重症になりやすく、日本ではロタウイルス胃腸炎で入院する子どもの4割が1歳児、3割が0歳児です。

一度かかるとある程度の免疫ができ、その後かかっても軽い症状ですむようになります。

ロタウイルスに対するワクチンを接種することで、重症なロタウイルス胃腸炎を相当程度予防できます。また、多くの乳幼児が接種を受けることで流行規模が小さくなります。

小さな子どもたちをロタウイルス胃腸炎から守るために、ぜひワクチン接種を受けていただくようお勧めします。

日本では2020年10月より定期接種になりました。これにより、より安心して接種を受ける体制ができました。

なおロタ胃腸炎のワクチンは2種類あります。「ロタリックス」は1価ワクチンで2回接種します。もう一つの「ロタテック」は5価ワクチンで3回接種します。この2つは互換性がないために、途中でワクチンの種類を変更することはできません（効果がない）。2回目以降も同じワクチンを使って下さい。

予防接種を受けたとの注意

※予防接種の副作用として、ごくまれに、注射の直後に急に具合の悪くなることもあります（アナフィラキシー・ショック）。万一のために15分程度は医院の中にいていただき、その後もしばらくは医院にすぐひきかえせるようにしていてください。（その場で適切な処置をすれば、最悪の事態はさけられます。）

ロタ胃腸炎のワクチンは内服用生ワクチンです。

次に受ける異なるワクチンとの接種間隔は、とくに制限はありません。※

※ 2020年10月から

回タ胃腸炎の予防接種（ロタリックス）

【定期接種】

- ・生後6週～24週0日まで
- ・2回の接種（27日以上の間隔）
- ・初回接種の標準的接種期間は生後2か月から出生14週6日まで
- ・経口接種

回タ胃腸炎の予防接種（ロタテック）

【定期接種】

- ・生後6週～32週0日まで
- ・3回の接種（27日以上の間隔）
- ・初回接種の標準的接種期間は生後2か月から出生14週6日まで
- ・経口接種

※生後2か月からヒブワクチンなど始まるため、初回はそれらと同時に受けるように案内がされています。

ロタ胃腸炎のワクチン

- ①飲むワクチンですので、嘔吐や下痢をしている時には受けられません。
- ②少量で効果があるため、接種後に嘔吐しても飲み直す必要はありません。
- ③哺乳後に嘔吐することがあるため、接種後30分ほど経ってから哺乳してください。
- ④接種後1週間ほどは便にワクチンウイルスが排出されます。周囲の方は手洗いを丁寧に行って下さい。
- ⑤ワクチン接種後に腸重積の発生頻度が高まる可能性があると指摘されています。グッタリしたり、顔色が悪くなったり、嘔吐をしたり、血便がでたりしたらすぐに受診して下さい。